

## 『神奈川大学言語研究』投稿規定

神奈川大学言語研究センター

1. 投稿論文の内容は、言語に関する研究とする。
2. 投稿は原則として、所員に限る。
3. 投稿者は原稿を言語研究センターに期限までに提出する。
4. 原稿の採否はレフェリーによる査読の上、編集委員会が決定する。
5. 所員以外からの投稿については、編集委員会で適合原稿を選び、編集委員会原案として運営委員会に提出し、運営委員会の議を経て、その掲載如何を決定する。
6. 投稿原稿の条件
  - ① 投稿論文は未発表のものであること。ただし、すでに口頭で発表し、その旨明記してある場合は対象となる。
  - ② 日本語、中国語の場合は横書きA4判、20,000字以内。その他の言語の場合はダブルスペース30枚前後（65ストローク25行）。注と参考文献を含む。
  - ③ 採用の場合に最終原稿のハードコピーとともに、名前、タイトル、電子ファイルを提出する。
  - ④ 書式の細部については、*Publication Manual of the American Psychological Association (APA)* (6<sup>th</sup> edition), または*MLA Handbook for Writers of Research Papers* (6<sup>th</sup> edition) 『MLA英語論文の手引』（第6版）に従う。
    - a. 注は、注またはNotesとして原稿の末尾にまとめる。
    - b. Acknowledgement があるときは、タイトルページでなく、本文の終わり、注の前に置く。
    - c. 名前は、別紙を作らずタイトルページに載せる。タイトルから2行空けて右端に収める。タイトルが2行以上になるときはできる限り逆三角形の形をとるよう工夫する。
  - ⑤ 校正は初校と二校を執筆者が行う。植字上の誤りに関するもののみとし、内容に関する訂正加筆は避ける。
  - ⑥ 本文前に200ワード程度の英語のアブストラクト及び5つのキーワード（本文と同じ言語を使用）を入れる。また、別紙に英文タイトルを表示する。
  - ⑦ 母語以外の言語で書いた原稿はネイティブチェックを受けること。
7. 掲載原稿については、著作権（複製権、公衆送信権を含む）を当センターに一括譲渡することに同意しているものとみなす。また本誌は神奈川大学学術機関リポジトリに登録する。